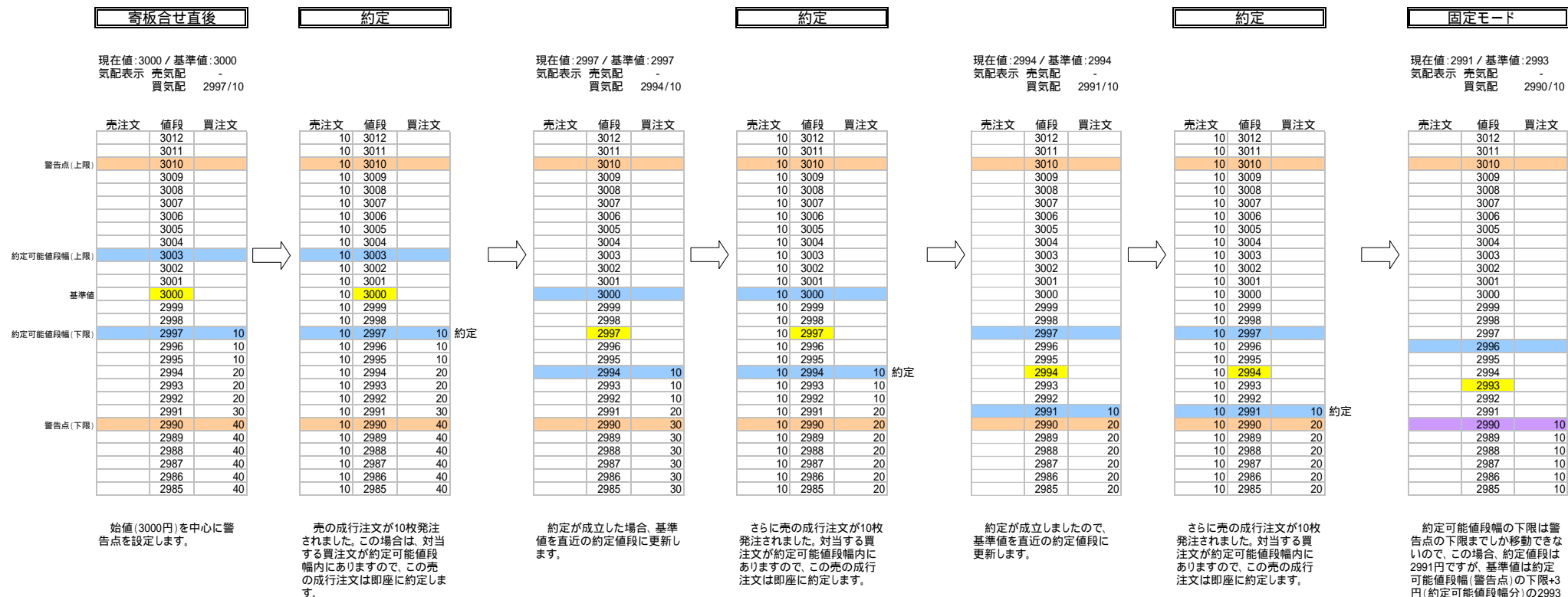


約定に伴う基準値の更新

- * 約定可能値段幅内で注文が対当している場合は、**即座に約定**します。
- * 約定に伴って基準値、約定可能値段幅を更新します。

約定可能値段幅の上限(下限)と警告点の上限(下限)が一致している場合を固定モードといいます。

例 白金(警告点幅10円/約定可能値段幅3円)



始値(3000円)を中心に警告点を設定します。

売の成行注文が10枚発注されました。この場合は、対当する買注文が約定可能値段幅内にありますので、この売の成行注文は即座に約定します。

約定が成立した場合、基準値を直近の約定値段に更新します。

さらに売の成行注文が10枚発注されました。対当する買注文が約定可能値段幅内にありますので、この売の成行注文は即座に約定します。

約定が成立しましたので、基準値を直近の約定値段に更新します。

さらに売の成行注文が10枚発注されました。対当する買注文が約定可能値段幅内にありますので、この売の成行注文は即座に約定します。

約定可能値段幅の下限は警告点の下限までしか移動できないので、この場合、約定値段は2991円ですが、基準値は約定可能値段幅(警告点)の下限+3円(約定可能値段幅分)の2993円に更新します。
また、このとき約定可能値段幅の下限と警告点の下限が一致しているため、「固定モード」となります。

← 約定可能値段幅内で注文の対当が続いた場合、約定は連続的に行われます。この例では、3000円から2991円まで短時間で価格が変動したことになります。 →

相場が反転した場合の基準値の更新

* 特別気配状態における基準値の更新における例から続きます

約定可能値段幅の上限(下限)と警告点の上限(下限)が一致している場合を固定モードといいます。

例 白金(警告点幅10円/約定可能値段幅3円)

固定モード

現在値:2990 / 基準値:2993
気配表示 売気配 買気配 2996/10

	売注文	値段	買注文
	1	3012	10
	1	3011	10
警告点(上限)	1	3010	10
	1	3009	10
	1	3008	10
	1	3007	10
	1	3006	10
	1	3005	10
	1	3004	10
	1	3003	10
	1	3002	10
	1	3001	10
	1	3000	10
	1	2999	10
	1	2998	10
	1	2997	10
約定可能値段幅(上限)	1	2996	10 約定
		2995	10
		2994	10
基準値		2993	10
		2992	10
		2991	10
約定可能値段幅(下限)		2990	10
警告点(下限)		2989	10
		2988	10
		2987	10
		2986	10
		2985	10

その後...

新たに買の成行注文が発注されました。
その後新たに2996円に売指値注文(1枚:赤字)が発注されると、売と買の注文が約定可能値段幅内で対当しますので、即座に約定します。

現在値:2996 / 基準値:2996
気配表示 売気配 買気配 2999/9

	売注文	値段	買注文
	1	3012	9
	1	3011	9
	1	3010	9
	1	3009	9
	1	3008	9
	1	3007	9
	1	3006	9
	1	3005	9
	1	3004	9
	1	3003	9
	1	3002	9
	1	3001	9
	1	3000	9
	1	2999	9 約定
		2998	9
		2997	9
		2996	9
		2995	9
		2994	9
		2993	9
		2992	9
		2991	9
		2990	9
		2989	9
		2988	9
		2987	9
		2986	9
		2985	9

2996円で約定しましたので、基準値を2996円に更新します。
その後新たに2999円に売指値注文(1枚:赤字)が発注されると、売と買の注文が約定可能値段幅内で対当しますので、即座に約定します。

現在値:2999 / 基準値:2999
気配表示 売気配 買気配 3002/8

	売注文	値段	買注文
	1	3012	8
	1	3011	8
	1	3010	8
	1	3009	8
	1	3008	8
	1	3007	8
	1	3006	8
	1	3005	8
	1	3004	8
	1	3003	8
	1	3002	8 約定
		3001	8
		3000	8
		2999	8
		2998	8
		2997	8
		2996	8
		2995	8
		2994	8
		2993	8
		2992	8
		2991	8
		2990	8
		2989	8
		2988	8
		2987	8
		2986	8
		2985	8

2999円で約定しましたので、基準値を2999円に更新します。
その後新たに3002円に売指値注文(1枚:赤字)が発注されると、売と買の注文が約定可能値段幅内で対当しますので、即座に約定します。

現在値:3002 / 基準値:3002
気配表示 売気配 買気配 3005/7

	売注文	値段	買注文
	1	3012	7
	1	3011	7
	1	3010	7
	1	3009	7
	1	3008	7
	1	3007	7
	1	3006	7
	1	3005	7 約定
		3004	7
		3003	7
		3002	7
		3001	7
		3000	7
		2999	7
		2998	7
		2997	7
		2996	7
		2995	7
		2994	7
		2993	7
		2992	7
		2991	7
		2990	7
		2989	7
		2988	7
		2987	7
		2986	7
		2985	7

3002円で約定しましたので、基準値を3002円に更新します。
その後新たに3005円に売指値注文(1枚:赤字)が発注されると、売と買の注文が約定可能値段幅内で対当しますので、即座に約定します。

現在値:3005 / 基準値:3005
気配表示 売気配 買気配 3008/6

	売注文	値段	買注文
	1	3012	6
	1	3011	6
	1	3010	6
	1	3009	6
	1	3008	6 約定
		3007	6
		3006	6
		3005	6
		3004	6
		3003	6
		3002	6
		3001	6
		3000	6
		2999	6
		2998	6
		2997	6
		2996	6
		2995	6
		2994	6
		2993	6
		2992	6
		2991	6
		2990	6
		2989	6
		2988	6
		2987	6
		2986	6
		2985	6

3005円で約定しましたので、基準値を3005円に更新します。
その後新たに3008円に売指値注文(1枚:赤字)が発注されると、売と買の注文が約定可能値段幅内で対当しますので、即座に約定します。

固定モード

現在値:3008 / 基準値:3007
気配表示 売気配 買気配 3010/5

	売注文	値段	買注文
	1	3012	5
	1	3011	5
	1	3010	5 約定
		3009	5
		3008	5
		3007	5
		3006	5
		3005	5
		3004	5
		3003	5
		3002	5
		3001	5
		3000	5
		2999	5
		2998	5
		2997	5
		2996	5
		2995	5
		2994	5
		2993	5
		2992	5
		2991	5
		2990	5
		2989	5
		2988	5
		2987	5
		2986	5
		2985	5

3008円で約定しましたが、このとき3010円に警告点の上限が設定されており、約定可能値段幅の上限は警告点の上限までしか移動できないので、この場合、基準値は約定可能値段幅(警告点)の上限 - 3円(約定可能値段幅分)の3007円に更新します。
また、このとき約定可能値段幅の上限と警告点の上限が一致しているため、固定モードになります。
その後、新たに3010円に売指値注文(1枚:赤字)が発注されると、売と買の注文が約定可能値段幅内で対当しますので、即座に約定します。

固定モード

現在値:3010 / 基準値:3007
気配表示 売気配 買気配 3010/4

	売注文	値段	買注文
		3012	4
		3011	4
		3010	4
		3009	4
		3008	4
		3007	4
		3006	4
		3005	4
		3004	4
		3003	4
		3002	4
		3001	4
		3000	4
		2999	4
		2998	4
		2997	4
		2996	4
		2995	4
		2994	4
		2993	4
		2992	4
		2991	4
		2990	4
		2989	4
		2988	4
		2987	4
		2986	4
		2985	4

3010円で約定しましたが、このとき3010円に警告点の上限が設定されており、約定可能値段幅の上限は警告点の上限までしか移動できないので、基準値は約定可能値段幅(警告点)の上限 - 3円(約定可能値段幅分)の3007円のまま更新されません。

2990円から、3010円まで連続的に約定します。
この例では、2990円から3010円まで短時間で20円分価格が変動したことになります。